

2019年3月25日

各位

会社名 株式会社プロネクサス
代表者名 代表取締役社長 上野 剛史
(コード番号 7893 東証第一部)
問合せ先 取締役執行役員社長室長 大和田雅博
電話番号 03-5777-3145

英国IR協会「IRベストプラクティス・ガイドライン」の 日本企業向け編集版「PFP2019」の発刊について

株式会社プロネクサスは、ディスクロージャー・IR実務に関する情報支援サービスの専門会社として、日本の上場企業と株主・投資家のコミュニケーションの質的向上に貢献する取り組みを進めています。その一環として、2010年から英国IR協会の「IRベストプラクティス・ガイドライン」(以下「本ガイドライン」)日本語版の作成に参画し、このたび10冊目となる2019年版を日本企業向け編集版「PFP2019」として発刊の運びとなりましたのでお知らせいたします。

記

1. 日本企業向け編集版「PFP2019」作成の背景と当社の参画目的

株主・投資家向けのアニュアルレポート・統合報告書、ウェブサイトやソーシャルメディアは、誰でも入手・アクセスできるIRツールです。しかし、これと決まった書式やテンプレートがあるわけではありません。そうした中、英国IR協会はこれらIRツールの「望ましい姿」の指針を定めた本ガイドラインを随時作成・更新してきました。「PFP2019」は英国IR協会の了解のもとに日本企業向けに編集を行ったものです。

株式会社プロネクサスは、本ガイドライン日本語版の制作ワーキング・グループである「Project Future Proof」(以下、「PFP」)の活動趣旨に賛同し、9年前より参画してまいりました。

日本においても、「日本版スチュワードシップ・コード」や「コーポレートガバナンス・コード」に続きフェアディスクロージャー・ルール施行、さらには有価証券報告書の開示内容の大幅な変更の動きを背景に企業に求められるコミュニケーションの質が変化し、開示情報が深化・増加する傾向が続いております。最適なコミュニケーションのあり方を模索する企業に、本ガイドラインをよりわかりやすい形でご提供し、より良いIRのご提案をしていくことを参画の目的としています。

2. 日本企業向け編集版「PFP2019」の特長

(1) 日本企業向け編集版へ

昨年分より、英国IR協会の了解を得た上でPFPの視点で日本企業向けに編集した「PFP版」としております。

(2) 「アニュアルレポート」「ウェブサイト」「ソーシャルメディア」「プレゼンテーション/IR Day」の指針を提供

本書では、IR活動の重要な要素である「アニュアルレポート（統合報告書含む）」「ウェブサイト」「ソーシャルメディア」「プレゼンテーション/IR Day」の4分野について指針を提供しています。

（3）日本国内の上場企業の実例に基づいた具体例を明示

IR担当者の皆様に明確なイメージを持っていただくため、日本国内の上場企業の好事例等をガイドラインや解説文と併せて紹介しています。

（4）国内外関係組織からの推奨

英国IR協会CEO、日本IR協議会専務理事各位からご推奨をいただいております。

3. 「PFP2019」のご提供

株式会社プロネクサスは、営業担当を通じてご要望のあるお客様を対象に本書を無償で提供するほか、PFPメンバーによるセミナーの開催を予定しております。

■「PFP2019」の配布開始予定日

2019年4月1日（月）～

■「PFP2019」に関するセミナー開催予定日時

2019年3月28日（木）10時～ 株式会社プロネクサス セミナールーム

■PFPのメンバー

埼玉学園大学 米山徹幸氏

株式会社ファイブ・シーズ 越智義和氏

株式会社2021 コミュニケーションズ デビッド・ラッセル氏

サンメッセ株式会社 田中信康氏

株式会社プロネクサス 臼井俊文

■英国IR協会（IRS）について

英国ロンドンを拠点とする欧州最大のIR団体。会員は英国・ヨーロッパを中心に約850名。IRに関する提言、IR担当者向け教育活動、キャリア支援などを行っています。アニュアルレポートや企業ウェブサイトを対象に本ガイドラインをベースとした「IRベストプラクティス賞」を年1回開催し、優秀なIR活動を実践する企業や個人を表彰しています。

■「PFP2019」に関する問い合わせ先

株式会社プロネクサス 気付IRコンサルティング部 山田・臼井 TEL: 03-5777-3609

（ご参考）「PFP2019」の表紙および目次

